地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月16日

協議会名:中土佐町地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社 中土佐ハイ で	① 萩麻/川・川 ・川・川 ・川・川線 ・リー・川線 ・大線 ・製 ・製 ・製 ・製 ・製 ・製 ・製 ・製 ・製 ・製	新組みけいた。 はいい にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にい	事業が計りがある。 事まれたい で別意一ででは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	目標①コミュニティバスの年間利用者数が前年度規制用実績を目標と言い。(前年度実績を目標と言いるい。(前年度実績を目標と言いるい。(前年度実績を目標と言いるの以上/年)【利用者数】7,329人/年(対前年比:105%)(対前な年比:117%)【各路標の1日あたりの平均利用人数】①目標9.8人/日以上に対し1.1人/日③目標9.8人/日以上に対し1.1人/日③目標13.9人/日以上に対し10.1人/日③目標13.9人/日以上に対し10.1人/日⑤目標7.6人/日以上に対し10.1人/日⑥目標7.6人/日以上に対し10.1人/日の「自標7.6人/日以上に対し10.1人/日の「自標7.6人/日以上に対し10.1人/日の「自標7.6人/日以上に対し10.1人/日で、自標では多いのでは、対して、対し、以のは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	令和5年度:14,249千円 前年比:1.2% ・年々公的負担が増加している。的 今の物価高騰の影響等もあるが、 今後も増加していくことが想定され る。公的負担額の適切な範囲と費 用対効果及び利便性の維持につして公共交通会議で議論し、定量的 な目標設定を行う。